

九ちゃん上映会

～ハンドベルの音色とともに～

2018年

12月17日月

14:00～16:30
(開場13:30)

時代を超えて歌い継がれる名曲とともに贈る
青春歌謡映画傑作選

舞坂ゆき子さん

九ちゃん名曲の♪
クリスマス
ミニコンサート



クララ・ベルリナーズ

特別上映

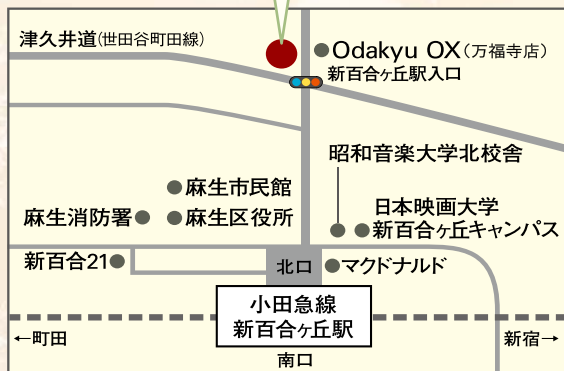
坂本九主演映画
「申し訳ない野郎たち」



坂本九 桑野みゆき 鰐淵晴子
脚本: 高橋二三 監督: 市村泰一

会場

川崎市アートセンター
kawasaki ART center



〒215-0004 川崎市麻生区万福寺6-7-1
TEL.044-955-0107

■小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分
*駐車場はございません。ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

応募方法

2018年11月26日(月)より受付開始
電話またはFAXで、お申し込みください。

「九ちゃん上映会 ～ハンドベルの音色とともに～」観覧希望の旨、
氏名、人数(2人まで)、電話番号(FAXの場合はFAX番号)
をお知らせください。

申込先

川崎市 市民文化局 市民文化振興室 (平日 8:30～17:00)
TEL.044-200-2433 FAX.044-200-3248

先着
180名

九ちゃん上映会 ～ハンドベルの音色とともに～



©坂本九音楽事務所

九ちゃんと 川崎

「上を向いて歩こう」「見
上げてごらん夜の星を」
「明日があるさ」など数
多くのヒット曲を生んだ
坂本九さんは、川崎市
出身です。

ロカビリー歌手としてデビューし、映画や舞台俳優、テレビ番
組の司会など、その活動は多岐にわたりました。なかでも、
1961(昭和36)年の「上を向いて歩こう」は、日本国外でも大
ヒットし、2年後にはSUKIYAKIというタイトルで、アメリカで
最も権威のある“Billboard Hot 100”の3週連続1位を獲
得しました。

今なお、色あせることのない坂本九さんの多彩な魅力を多く
の人に伝えることで、素晴らしいアーティストを育んだ「映像
のまち・かわさき」「音楽のまち・かわさき」を広く発信します。

【映画】

申し訳ない野郎たち (1963年)

《ストーリー》 東洋放送の会長を父にもつ“九
ちゃん”こと梶本隆三は、大学への進学を勧める父
母の元から家出、一人前のコックになろうと学生街
のレストラン“デュボン”に就職する。同僚や町のみ
んなの人気者だが、店の一人娘、菊代とは顔を合
わせればケンカばかり。家出の秘密を握られてい
る六人組も苦手の相手だった。ただ喰いばかりして
いるペテン師グループだが、音楽にかけては天才
的な腕の持ち主で、いつかはステージにと夢見て
いる。ある夜、出前の帰り道、電車へ飛び込み自殺
をしようとしている二宮久恵という女性を九ちゃん
が助けたことから、一騒動持ち上がる。

《キャスト》 坂本九／桑野みゆき／ダニー飯田
とパラダイス・キング／鰐淵晴子／渡辺トモ子／
河津清三郎／松原緑郎／宗方勝巳／環三千世／
南原宏治／ジェリー藤尾



©松竹株式会社

舞坂 ゆき子 プロフィール

1996年～ 2002年に宝塚歌劇団雪組に在籍し『エリザベート』『ノ
バボサノバ』『アンナカレーニナ』など数々の舞台を娘役として踏む。
宝塚歌劇団在籍中の2000年には、父である故坂本九との夢のデュ
エット『SUKIYAKI2000』を東芝EMIよりリリース。2002年に退団
後は、数多くのドラマに出演。

2009年に、幼い頃からの夢であった動
物との触れ合いを通じた癒しの時間を提
供するドッグライフコンシェルジュの活動
を開始。その中で発表した、動物愛護を
テーマにした楽曲「ボクものがたり」が話
題となる。

2010年にCDをリリース。2012年、絵
本家いもとようこ氏がラジオでOAを聞
いた事がきっかけとなり「ボクものがた
り」を原案とした絵本が出版された。

ドッグウェアブランド
『chu♥che(クーチェ)』
のプロデューサー、デザ
イナーとしても活躍中。



クララ・ベルリンガーズ プロフィール

1996年結成。地元川崎のコミュニティハウス
を練習拠点としケアホーム、学童保育、病院、
商店街など「地域に根ざした音楽活動」を続
けています。

幅広い年齢層の方々に親しんで頂けるよう、
クラシックをはじめミュージカル、ディズ
ニー、懐メロなど様々なジャンルをお届けし
ています。

ベルの音の響きや、奏法による音色の違い
など…様々な角度からハンドベルの世界を
お楽しみください。



©坂本九音楽事務所